

副会長を仰せつかっております、江差小学校の角田です。

私から、「ギガスクール構想、教育課程、学びの保障」に係わる意見交換の概要について、お知らせする。

道小理事からは、今後の新型コロナウイルス感染拡大に備えた学びの保障のため、各学校のICTの整備を進めていく上で、ICT支援員などの専門家の配置や、タブレット等の端末と「校務支援システム」との接続の要望が出された。

また、道中副会長からは、「スクール・サポート・スタッフ」や「ICTスタッフ」への大学生の任用、道小と同様に、ICT環境の整備にかかわる専門家の配置等の要望が出された。

道教委の山本ICT教育推進局長より、「ギガスクール構想」により、道内の全て小中学校において、校内LANの整備及び児童生徒一人1台の端末が、9月末に完了する地域と年度末の3月までに行われる地域があるとの見通しが示された。

また、家庭支援として、通信環境が整っていない家庭が多いところから、「モバイルルーター」の整備を進めており、コロナ禍によりICT環境が早急に進んでいると見解が示された。さらに、教員の「ICT活用スキル」の向上は試行錯誤の段階であり、今後、道教委として「授業モデル」や「支援ソフト」の作成を進めており、完成次第アップしていく予定である回答があった。

小玉教育長からは、ICTに係わっては、道教委としても「人材バンク」の作成を検討するなど、人材の確保に努めること。また、各学校に対して、ICTの一層の活用が要請された。

さらに、修学旅行の実施に当たっては、保健福祉部と連携を図っていくことが出された。

以上、「ギガスクール構想、教育課程、学びの保障」に係わる事項の概要である。